



穂中便り

学校教育目標：知育・体育・徳育・経営
令和5年度 第4号 令和5年6月23日 むかわ町立穂別中学校

穂別中学校
ホームページ
QRコード



今年の6月が例年と少し違う理由



教頭 佐々木 勤

これまで多くの中学校では、6月と言えば、部活動の集大成として中体連が実施され、終了してひと区切りすると、「さあ。気持ちを切り替えてテスト勉強だ。」と教師が生徒に対して声を掛ける光景がよく見られてきました。ところがここ数年、全国的に変化が見られるようになり、このような光景が減りつつあるのが現状です。

さて、今年度の本校はどうでしょうか？年度当初に、校長から保護者の皆様に説明がありましたように、昨年度まで6月下旬に当たり前のように実施してきた「定期テスト」を今年度からは実施しません。果たして定期テストを実施しないことにどのような意味があるのでしょうか？

かつての私の中学校生活を思い起こしてみると、定期テストの1週間前に、日頃の学習の遅れを取り戻すために躍起になって学習し、出題されそうな部分を一夜漬けで暗記してテストに臨んでいました。テストが終了すると一時的な開放感に満たされ、家庭では学習しなくなることの繰り返しでした。これでは少し時間が経つと、学習事項のかなりの部分をすぐに忘れてしまい、真の学力は定着しません。



従来の定期テストが生徒と教師の双方にとって、「成績」のためだけのものとなっていたことを再認識し、今年度から本校では、定期テストの回数を削減して「単元テスト」の回数を増やし、教師が日常的に生徒を細かく見取ることに重点を置いています。こうすることにより、生徒は授業で学んだ内容が自分の中に定着しているかを常に確認し、理解できていない部分はすぐに復習して学びを深めやすくなりました。単元テストは各教科によって実施日や回数が違いますので、生徒は年間を通じて気を抜くことなく家庭学習に取り組む必要があります。定期テスト前しか学習しなかった生徒にとっては、以前よりも、日常的な学習の習慣が身に付きやすいという利点があるとともに、テスト前に一夜漬けのため、生活リズムを崩すリスクも減ります。

また、単元テスト以外のレポートや振り返りシートの記述の内容、実験や観察の様子、自らの学習を振り返って次につなげようとする様子等、多面的・多角的に生徒の学習の様子を見取って評価し、個々に適したアドバイスを送りながら、教師も自分の指導を振り返って日々の授業を改善し、生徒に真の学力を身に付けさせるよう努力します。

最後に、今年度から本校が新たに取り組んでいる「穂中スタディープラン」という取組について紹介します。これは、右の＜写真1＞と＜写真2＞

（写真1の拡大写真）のようなカレンダーを各階に掲示し、どの学年のどの教科で、いつ単元テストを実施するかを示しています。生徒はこれを見て、単元テストの日程を生活ノート等に記入し、自分で学習計画を練るという取組です。

大人になると、誰もが自分で考え、判断して行動する必要に迫られます。単元テストに向けた準備を自主的に行うことが「生きる力」を育むことにもつながります。

これからも本校では、新時代を見据えつつ、生徒たちの人間として調和のとれた育成を目指して、様々な取組を積極的に行います。今後とも保護者の皆様の御理解と御協力をお願いします。

＜写真1＞



＜写真2＞



☆充実の第40回体育大会☆

今年度は5月27日(土)に予定通り実施することができました。

当日の朝方まで穂別地区は雨天に見舞われましたが、天候が回復し、生徒たちは最高のコンディションで競技することができました。

また、4年ぶりに観覧人数の制限を設けずに実施できたということもあり、当日は多くの方々が来校され、活気に満ちた体育大会になりました。生徒たちに温かい声援を送っていただいた保護者の皆様及び地域の皆様、ありがとうございました。



中体連壮行会

6月8日(木)の5校時に実施しました。バドミントン部の13名、陸上部の8名の部員が東胆振中体連に向けて、それぞれの決意表明を行いました。中学生らしく、礼儀正しい挨拶で締めくくった後は、校長から「必ず自分に勝ってきてください。」と激励され、選手達は士気を高めていました。



<今月の食指導>

第3回目は6月19日(月)に実施しました。今月は「丈夫な歯をつくろう!」というテーマで学習をしました。食事の際は、30回以上噛んでから食べると、虫歯の予防や肥満の予防につながることや、牛乳やチーズ等の乳製品や大豆製品、魚を摂取すると歯が強くなることを学習しました。「むかわ食育の日」として定められたこの日の給食の主菜は、穂別地区で生産された豚肉を使用した「豚肉の塩こうじ炒め」でした。生徒たちはいつもよりもよく噛んで食べていました。



令和5年度 むかわ町少年の主張大会

6月6日(火)、むかわ町産業会館にて、むかわ町少年の主張大会が行われました。本校の代表として、3年生の太田小百合さん、菅原史織さん、2年生の藤野煌大君の3名が出場しました。大会前は昼休みを返上して練習に励んでいました。お疲れ様でした。

<審査結果>

- ◇太田小百合(3年)奨励賞
「平和の勝利」
- ◇菅原史織(3年)奨励賞
「分かり合うこと」
- ◇藤野煌大(2年)奨励賞
「煙草は認められて良いのか」



東胆振中体連大会

13名のバドミントン部員、8名の陸上部員が東胆振中体連大会で精一杯頑張りました。3年生にとっては、中学校における部活動の成果を発揮する集大成の大会でした。主な結果を紹介します。

<バドミントン>

6月10日(土) 11日(日)に実施

町田 柚葵(3年) 男子シングルス ベスト16
松田 快(3年) 男子ダブルス ベスト16
長谷山侑我(2年) 男子ダブルス ベスト16

<陸上>

6月10日(土)に実施

菅原史織(3年) 女子走り幅跳び 第7位
古幡凌空(2年) 2・3年100M 決勝進出
共通200M 第6位
照井幸人(2年) 共通400M 第3位
男子走り幅跳び 第8位
岡田 渚(1年) 1年100M 第4位
藤岡 爽生(1年) 1年100M 第5位
土屋 颯佑(1年) 1年100M 第7位

高校説明会 6月13日(火)

6月13日(火) 5・6校時に高校説明会を開催しました。北海道鶴川高等学校、北海道苫小牧南高等学校、北海道苫小牧工業高等学校、駒沢大学附属苫小牧高等学校の4校の校長、進路担当者が来校し、それぞれの学校の特色や教育活動について説明していただきました。会場は4つのブースに分かれ、生徒たちは事前に選択した興味や関心のある高校のブースに移動し、メモをとりながら各校の説明を真剣に聞いていました。説明終了後に、積極的に質問をする生徒が多くいたことから、本校の生徒の進路に対する意識の高さを感じました。生徒たちは、「今後も興味がある高校についてしっかりと調べ、各高校の特徴を比較しながら自分に合った高校を選択したい。」などと感想を述べていました。

